

## アイスランド大学 交換留学体験記 (2026年1月)

N25M824 福原亜美

今回は、12月・1月のメインイベントであるクリスマスと新年イベントについてご紹介できればと思います。

### 【クリスマス】

クリスマスイブはフィリピン系アイスランド人の友達のおうちにお邪魔し、一緒に過ごしました。行く道すがら車内で、友達が「親戚はアイスランドだけでも100人ほどおり、誰が誰だか分からない」と面白おかしく話してくれました。誘ってくれたときは、家族の大事な集まりに誰のことも知らない私がいきなり参加してもいいのだろうかと動揺し、何度も友達に確認するほどためらっていました。しかし、ドアを開けるとたくさんの家族が「Welcome!」と私に笑顔を向け、ためらうことなく招き入れてくれました。その上、専攻や大学、日本のことなどたくさん聞いてくれて、あたたかさにホッとしました。クリスマスなどイベント事に際して定期的に親戚が集まる文化や初めましてに慣れている親しみやすい人柄からフィリピンらしさを感じることができました。食卓にはメインの肉料理、お米や食後のデザートまで、手作りのものが多く並んでいて、アイスランドとフィリピンを折衷した伝統的なクリスマスの食事を頂くことができ、貴重な経験になりました。

クリスマス当日はアイスランド在住の日本人の方のおうちにお邪魔して夜ご飯を頂きました。道中、レイキャビクの中心的な観光地に寄ったのですが、閑散としており、12月からにぎわっていたクリスマスマーケットも当日は閉まっていました。お店が再開するのは2日かららしく、クリスマスは日本とは違い、出歩く人は少なく、家族と過ごす時間を大切にする日のようです。

### 【新年】

31日は、アイスランド在住の日本人の方と他友達何人かと一緒に、とんかつや年越しそば、ローストビーフ、巻き寿司などたくさんの日本料理を作りました。23時過ぎから、アイスランド人にとっては恒例の、今年の時事ネタを交えたダイジェストドラマのようなものを見た後、花火を見にハットグリムス教会まで歩いて行きました。日本のような厳かな年越しとは一風変わって、レイキャビクの街中の一般家庭で花火を思い思いに打ち上げるとも華やかなものでした。一番激しいのは教会近くです。打ち上げるための区画に近づけば近づくほど、火の粉が飛んでくる可能性もある、クレイジーな年越しです。せっかくなので区画付近に行ってみましたが、見ている途中で花火の1つが斜めに飛び、反対側の打ち上げ区画外に行ってしまうハプニングに遭遇

したため、すぐに離れることにしました。とはいえ、アイスランドカラーにライトアップされた教会と花火の組み合わせはとても素敵で、良い思い出になりました。

最後に、現地の写真を共有します。Takk fyrir!



アイスランドディックホース



クリスマスのレイキャビク





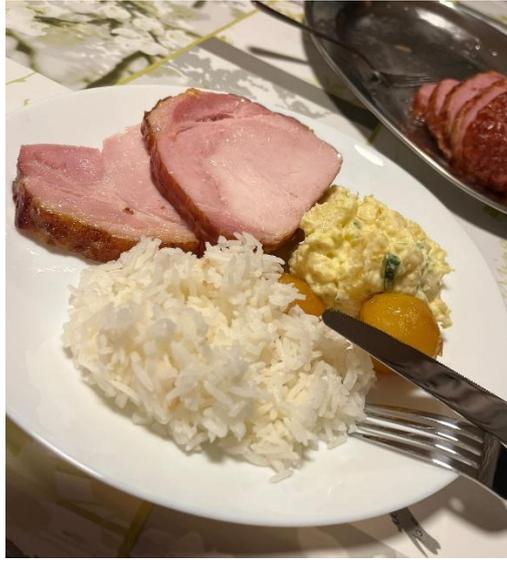
学内バーのジャズライブ



アジア料理のビーガンビュッフェ



フラットメイトからもらったエルサルバドル産ホットチョコレートとプルーサ



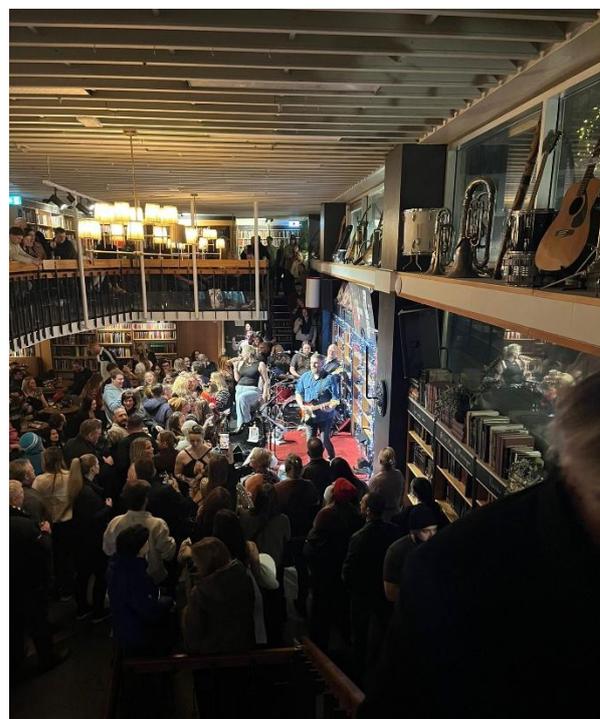
クリスマスイブのディナー



新年に手作りした日本食



国旗カラーの教会と花火



本屋カフェでのライブ



今回観測できたオーロラ

聞きたいこと，知りたいこと，なにかあれば気軽にこちらまで:)  
n25m824@matsu.shimane-u.ac.jp